

6 主審の仕事

審判団(主審、線審、S J, 得点係)はチームである!!

コート入場前	<p>① タイムテーブルに従い、担当の試合及び開始時刻等を確認しておいて下さい。</p> <p>② 担当する試合の開始予定時刻5分前には本部近くで待機をお願いします。</p> <p>③ 試合に備えて、トイレ・うがい・鼻をかむ等の準備をしておいてください。</p> <p>④ 本部の「進行」担当から審判セットを受け取る。</p> <p>＜審判セット＞</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 25%;">・ボード <li style="width: 25%;">・磁石 <li style="width: 25%;">・ストップウォッチ <li style="width: 25%;">・イエローカード <li style="width: 25%;">・レッドカード <li style="width: 25%;">・コイン <li style="width: 25%;">・鉛筆 <li style="width: 25%;">・スコアシート <li style="width: 25%;">・シャトル <li style="width: 25%;">・都県, 選手名用紙 </div>
試合開始前	<p>① コートに到着後、速やかに対戦チーム同士の挨拶及びオーダーの確認を行う。</p> <p>② 選手を呼び、握手をする。</p> <p>③ ゼッケン、ウェアを審査合格品か確認（特に背面は要注意）する。 ゼッケンの場合は四隅4カ所を留めさせる。</p> <p>④ トスはコインで行い、エンド及びサービスサイドが決まったら得点係の生徒に知らせる。</p> <p>⑤ 必要があれば、得点係生徒にコート整備の指示を出す。</p> <p>⑥ 2分間の練習（※若番が先）を指示し、計時しながら以下の点を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポストの位置、ネットの高さ ・線 審（対戦チームから1名ずつ出す）→ イスの位置(S/D)を確認。 → 「コールは大きく、シグナルは長めに」と伝える。 ・得点係 → 得点板に都県・選手名用紙が正確に取り付けてあるか、エンドが一致しているか。 → 「主審がコールをしてから得点をめくるように」と伝える。 → インターバルボードの向き・タイミングの確認。 ・選手 → かご（ラケット、ドリンクの置き方）など <div style="text-align: center;"> <p>2分間の練習時間内で1～2分程度で!! 確認後、審判台にはすぐ上がる。</p> <p>LR : 得点表示板 SB (操作確認、サーバー、<u>有視界のサイド確認</u>)</p> </div>
	<p>⑦ 椅子にあがる。</p> <p>① 審判台に上がったら、最終コールまで審判台から降りずに業務を行う。</p> <p>② 試合開始を忘れずにスコアシートに記入する。（※選手の特徴も記入）</p> <p>その他のスコア記載例：</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>W (警告; WARNING) F (不品行な振る舞い; FAULT)</p> <p>I (怪我; INJURY) S (中断; SUSPENDED) 時間記入!、</p> <p>キケン (棄権; RETIRED) レフェリーを呼んだらレ〔極力呼ばないように!!〕</p> </div>

試 合 中	<p>③ 選手の練習を静止させ「始めて よろしいですか」と確認してからゲームを始める。</p> <p>④ 試合中のコールの詳細については、別紙を参照。</p> <p>○ 試合開始時 <ダブルス> 「オンマイライト □□(都県名)レプリゼンティッド バイ ○○(選手名)さん、●●(選手名)さん オンマイLEFT ■■(都県名)レプリゼンティッド バイ △△(選手名)さん、▲▲(選手名)さん (□□がサービングサイドの場合)□□(都県名) トゥ サーブ、○○さん トゥー △△さん」 「ラブオール、プレー」</p> <p><シングルス> 「オンマイライト □□(都県名) レプリゼンティッド バイ ○○(選手名)さん、 オンマイLEFT ■■(都県名) レプリゼンティッド バイ △△(選手名)さん、 (□□がサービングサイドの場合) □□(都県名) トゥ サーブ」 「ラブオール、プレー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● シャトルは必ず目で追う。 ● 顔を上げ猫背にならぬようによい姿勢で座る。(不安そうだとつっこまれるので堂々と) ● 審判のペースにのせる。スコアを書いたらすぐ顔を上げる。 (不必要に待たせない。選手は休ませない。) ● 何か言われた場合には「次は気をつけます」。 ● 線審には必ずアイコンタクトを送る。 ● 得点板に正確に得点が表示されているか確認し、間違いがあった場合は得点係に指示して修正する。 ● ゲーム間は、得点係にインターバルボードを設置させ、「Oコート20秒」のコールと同時に撤去させる。(※ネットと平行に置く。) 両サイドの選手がコートに入り、コール前にプレーが再開しそうな場合は2分間の経過を待たずに撤去の指示を出す。 ● チェンジエンスの際、得点板の選手名表示と選手のエンドが一致しているかどうかを確認する。 ● 必要に応じてシャトルの交換を許可する。(作戦の場合もあるため、必ず見て確認する。) <ul style="list-style-type: none"> ・ 交換する際は、その都度筒から出す。 ・ <u>サーブ権がある方に渡す</u>。(選手に手渡しで渡す。) ・ 使用済みシャトルは、審判セットのかごに入れ、最後本部に全て持ち帰る。 ・ 試合中にシャトルが不足しそうな場合は審判台の上で筒を大きく振って知らせる。 ● コートが汗でぬれた場合は得点係に指示し床を拭かせる。(選手から申告させる。) (得点係の椅子の下に雑巾の用意あり) ● 汗ふきの許可については状況を確認する。 (連続ポイント中は注意。→勝っているチームの試合の流れを切らせるおそれがある。) ● ゲーム中の“痙攣”は“疲れ”の扱いと見なす。※詳細は別紙を参照。 <p>○ 各ゲーム終了時 「ファーストゲーム ワンバイ □□(都県名) スコア</p>
試 合 終 了 時	<p>○ 試合終了時</p> <p>① 「ゲーム」のコールの後審判台に上がったまま選手と握手し、スコアシートに勝者サインをもらう。 最終コール 「マッチ ワンバイ □□(都県名) 全スコア」</p> <p>② チーム(審判団; J, S J, L J, P B)に起立の合図~挨拶 降壇してから、さらにねぎらいの挨拶をして退場する。</p> <p>③ 第2シングルス終了後は、勝利チームの確認及び挨拶を行う。</p> <p>④ 得点係から都県・選手名用紙を受け取り、審判用具がそろっているか点検する。</p> <p>⑤ 得点係にモップかけの指示を出す。(次の試合に備えて)</p> <p>⑥ 審判セット(スコアシート以外)を本部の「進行」担当に返却する。 シャトルは未使用シャトルのみ筒に入れ、使用済みシャトルはかごに入れたままにしておく。</p> <p>⑦ スコアシートに記入もれがないか確認する。(サイン、終了時間、スコア等)</p> <p>⑧ スコアシートのみレフェリーのもとへ持参し、確認を受ける。</p>